

平成22年12月24日 第22号
発行：東京二十三区清掃一部事務組合
〒102-0072 東京都千代田区飯田橋三丁目5番1号
TEL 03-6238-0613～5 FAX 03-6238-0620

東京二十三区清掃一部事務組合は、
循環型社会の形成を目指しています。
<http://www.union.tokyo23-seisou.lg.jp/>

区民との意見交換会を開催しました

平成22年11月19日（金）、渋谷清掃工場4階見学者説明室で、第1回区民との意見交換会（以下「意見交換会」という。）を開催しました。

この意見交換会は、清掃一組の事業運営に対する区民の関心や理解を深めるとともに、区民の意見や要望を聴取し、区民との活発なコミュニケーションを図る取組として行うものです。

清掃一組はこれまでに一般廃棄物処理基本計画におけるパブリックコメントの実施、廃プラスチックのサーマルリサイクル実証確認結果の確認等検討委員会（以下「実証確認検討委員会」という。）への区民委員（公募）の参加等、区民参加の場を設けるとともに、年間を通じホームページ上で事業運営に関する情報提供を行ってきました。



基調講演する京大 高岡准教授

区民との意見交換会の流れ

◆開会あいさつ

総務部長 本間 敏幸

◆基調講演

「水銀をとりまく現状及び将来の動向」
京都大学大学院准教授 高岡 昌輝

◆清掃一組からの説明

「水銀混入ごみによる清掃工場の停止」
施設管理部技術課長 大塚 好夫
「再発防止対策」
施設管理部管理課長 山田 裕彦

◆区民との意見交換

しかし、実証確認検討委員会において区民委員からは、区民が参加する機会を設けたことに対する評価とあわせ、継続的な区民参加の場の設置についての要望が出されていました。また、区民団体が主催するシンポジウム等への職員参加の要請も多く寄せられていました。

今回の意見交換会は、水銀混入ごみの搬入をテーマに行われました。

本間総務部長による開会あいさつの後、

基調講演として、廃棄物処理やごみ焼却処理に関わる残留性有機汚染物質 (POPs) の制御等に関する調査の研究者で、昨年度は実証確認検討委員会の学識経験者委員を務めていただいた、京都大学大学院工学研究科の高岡昌輝准教授から、「水銀をとりまく現状及び将来の動向」について、お話をいただきました。

基調講演の後、清掃一組からの説明として、はじめに、大塚技術課長から「水銀混入ごみによる清掃工場の停止」について、清掃工場における水銀除去の仕組

みと今回の水銀ごみ混入問題における発生事象と復旧作業、そして今回の事象を踏まえた今後の対応について説明を行いました。

次に、山田管理課長から「再発防止対策」について、搬入物検査の強化や、持込ニュース等による事業者向けの周知徹底や、不適正搬入防止検討委員会の設置による23区との連携の強化などが説明されました。

休憩を挟んで、区民との意見交換を行い、今回の水銀問題に関して日ごろから疑問に感じていた点や、今回の講演や清掃一組からの説明を踏まえて感じたことについて御質問や御意見を承り、4人の説明者（総務部柳井企画室長、施設管理部山田管理課長、大塚技術課長、塚越副参事）が答える形式で行われました。

最後に基調講演をいただいた高岡准教授から、区民と清掃一組が会合し意見交換を行うことは有意義であり、また清掃工場に連続水銀計を設置している自治体が少ない中、清掃一組の多くの



区民との意見交換の様子

工場では2か所に連続水銀計を設置しており、ろ過式集じん器の後でモニターし、洗煙の後でコントロール可能となることから、環境対策は他地域よりも進んでいるといった講評をいただきました。

今後の意見交換会について、本年度は2～3月ごろにあと1回行う予定となっています。意見交換会の結果や今後の予定等は、清掃一組ホームページでも公表することとしています。

<http://www.union.tokyo23-seisou.lg.jp/>

清掃一組

検索

意見交換における主な御質問・御意見

- 区民との意見交換会は今後どのように開催するのか。
- 水銀濃度計はどのように設置され、どのように管理されているのか。
- 原因について排出者、ごみなどの特定はできなかったのか。
- 廃プラスチックのサーマルリサイクルの実施により分別が悪くなっていると思うが関連についてどのように考えているか。
- 不適正搬入についてどのように対応しているのか。
- 情報の透明化、共有化をしっかりと図るとともに積み上げたデータを詳細に分析して活用するべき。